

2022年
290号
7月15日(金)

ねんきん越谷

全日本年金者組合越谷支部
〒343-0845
埼玉県越谷市南越谷2-13-49
(越芳連内)
TEL・FAX 048-989-2472
E-mail keyaki-n@biscuit.ocn.ne.jp

第30会定期総会を開催します

日時 7月29日(金)13時30分
場所 中央市民会館5階
第2・3会議室

議題

1. 2021年度活動報告
2. 2021年度会計報告
3. 2021年度会計監査報告
4. 2022年度活動方針(案)
5. 2022年度予算(案)
6. 2021年度クラブ活動報告
7. 次期役員選出

次期役員の出候補届けを受け付けます

支部長・副支部長・書記長・書記次長・執行委員・会計監査の役職があります

立候補届け 五十嵐書記長まで
090-7810-1348

今月の配布物の中に議案書と委任状が含まれています。

定期総会に出席できない方は、委任状に記入の上、お近くの役員に渡すか、投函してください。

総会に参加される方は議案書をご持参いただき、又マスクの着用をおねがいします。

越谷支部執行委員会



山田さよなら原発事務局長や山田大介、大和田、工藤市議も参加、福田市長からのメッセージが届きました。年金者組合と高齢者を代表して、吉田支部長

6月23日(木)「民主市政をめざす越谷市民の会」は、越谷市と懇談しました。年金者組合越谷支部から、吉田健治支部長、足立、山本両副支部長の3人が参加し、併せて13人が出席、市側からは「総務課」を含め6つの課から8人が出席懇談しました。懇談内容は、「補聴器」

(8班・山本英郎)

- ① 難聴高齢者の補聴器購入補助制度新設
- ② 平和資料の常設展示室を設置
- ③ 住宅・店舗改修促進補助制度の予算拡充
- ④ 市内公共交通の新設、財政支援
- ⑤ コロナ禍での全業種対象の事業者支援検討
- ⑥ 水害から市民を守る施策の拡充

7月11日(月)、早朝から越谷駅東口広場に音楽と歌声が広がっていました。8時30分平和行進の集会が宮川原水協越谷事務局長の司会で開催されました。早朝から猛暑で、参加者の顔は赤くなっていました。民主市政の会の大里さん、土建越谷支部婦人部の??さん、そして新婦人の6人の朗読で平和を訴えました。

9時30分参加者150余名は猛暑の中、市内ロータリーを1周し解散しました。(吉田健治)

対市交渉 「越谷市民の会」が市と懇談

「平和行進」 「被爆者とともに核兵器のない 平和で公正な世界を」

「平和展示」「住宅・店舗改修補助」「公共交通」「事業者支援」「水害対策」の6項目について懇談しました。「難聴高齢者の補聴器購入補助制度」について、他自治体の補助の状況、技能士の役割の重要性、補聴器制度新設の必要性などが参加者から出されました。市は必要性があるとしつつ、課題があると回答しました。懇談で、以下要望しました。

点 睛

平和は黙っていても訪れない

日本の侵略は、第二次世界大戦において、一般住民を巻き込み、史上まれに見る苛烈を極めました。東南アジアを中心に三十万人余りの尊い命を奪い去り、貴重な文化遺産や、緑豊かな自然を破壊しました。戦争の不条理と残酷さを身をもって体験した国民は、一人一人の不断の努力と揺るぎない信念を持って、戦後の廃墟と混乱から懸命に立ち上がり、共に手を取り合っ幾多の困難を乗り越えてきました。

基地のない平和な国として、独立を目指してきたが、国土の0.6%の沖縄には、現在も米軍の基地が日本全土の基地の90%を占めています。

そして沖縄県民の反対の声を無視して、辺野古に新しい基地を作っています。世界においては、依然として地域紛争は絶えることなく、難民・貧困・飢餓等、深刻な問題が存在しています。

ウクライナではロシアの侵略により、住民の命が奪われ続けています。77年前の日本の国民が体験してきた記憶を呼び起こすものです。

「戦争は人の心の中で生まれたものであるから、人の心の中に平和の砦を築かなければならない」とユネスコ憲章に記載されています。

平和は黙っていても訪れません。一人一人が「平和」の声を出してこそ実現出来ると思います。高齢者が中心である年金者組合員は平和運動の先頭に立ちましょう。

最後に、被爆国である日本だからこそ、核兵器廃絶運動を強化し、「核兵器禁止条約」に参加し、批准することです。岸田内閣よ、今こそしっかりとります時です。(吉田健治)

7/20(水)は自治体キャラバン(中央市民会館4F会議室 9:30集合)

年金者組合が責任組合です「社会保障問題」を討議します、多数参加を!